

高知県立あき総合病院 オプトアウト書式

申請番号 (2025-15)	
研究課題名	急性冠症候群および非小血管病変に対する薬剤塗布型バルーン (DCB) 治療の有効性の検討
研究目的及び方法 (情報利用の目的及び利用方法、他の機関へ提供する場合はその方法)	DCB は、ステント内再狭窄や小血管病変に対して有効であることが多くの報告で示されている。一方で、非小血管の新規冠動脈病変や急性冠症候群 (ACS) の責任病変に対する DCB 治療の有効性を、薬剤溶出性ステント (DES) と比較検討した報告は限られている。そこで当院における新規病変に対する PCI 症例を解析し、DCB 治療の有効性を DES による治療と比較検討した。
利用、提供する情報の項目など	DES または DCB で治療した病変の再血行再建率 (TLR)
対象及び対象(研究)期間	2021 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに新規病変に対して PCI を施行した患者のうち慢性期に冠動脈造影検査が行われた方。データは 2029 年 3 月 31 日まで使用。
利用する範囲	当院で、冠動脈形成術を行った後に、さらに慢性期に冠動脈造影を行った方を対象に、最初の治療方法とその効果を比較検討する。
個人情報の取り扱いについて	通常の診療記録から、データを収集する。データはすべて匿名化し、個人が特定できないように配慮する。
共同臨床研究機関、情報の提供先、研究責任者	高知県立あき総合病院 研究責任者：循環器内科部長 桑原昌則 分担研究者：副院長（循環器内科）古野貴志 循環器内科 倉岡駿太郎、尾崎都、井上愛美
当院の研究責任者	循環器内科 部長 桑原昌則
問い合わせ先	〒784-0027 高知県安芸市宝永町 3 番 33 号 高知県立あき総合病院 Tel : 0887-34-3111 循環器内科 部長 桑原昌則
備考	